

## 左派労働者会 創立宣言

新自由主義の暴風が地球の至る所で吹き荒れている。柔軟化という名の下、安定した雇用が消えてゆき、無慈悲な資本の搾取のもとに置かれた非正規職は低賃金に苦しんでいる。不安定な境遇に追い込まれた労働者の立場から代案を求めて抵抗を組織することが、この時代労働者運動の課題だ。

労働現場の外側では金融資本が社会全体を収奪している。投機資本が地球を舞台に勝ち逃げを繰り返していて、社会生活を始める瞬間から債務者の境遇を抜け出すことはできない世の中だ。1 パーセントが 99 パーセントを収奪するという表現には少しの誇張もない。金融収奪体制の終息なしに 99 パーセントの人々の安定した人生は不可能だ。

数多くの同志たちの献身的闘争によって建設した民主労総はいつのまにか革新の対象になった。すでに二十二人の命を奪った双龍自動車の事態をはじめとして、組合員の切迫した問題に対して民主労総は答えを出せずにいる。民主労総の革新なしには労働者運動の進展は不可能であり、革新のための闘争は全労協建設や民主労総建設と同じぐらい悲壮な覚悟と行動を要求することになった。

1987 年に提示された「労働者民衆の独自政治勢力化」という正しい課題は、民主労総の「排他的支持」方針により捻じれてしまい、労働者と民衆が政治の主体として立ち上がる道を封じ込めた。そして排他的支持の対象だった民主労働党は韓国に新自由主義を導入した勢力との党合同をはばからなかった。統合進歩党が今回の総選挙で選んだ「野党圏連帯」の路線は、近づく大統領選挙で労働者階級の政治を深刻に脅かすだろう。今は労働者階級政治の実現を再び強調する時だ。

そして私たちは今日、非正規職労働者の観点から民主労総を革新し、労働者階級政治を実現して金融収奪体制を終息させようと新しい組織のスタートを宣言する。私たちはこのスタートが契機になって多くの同志たちが共に闘ってくれることを期待する。資本主義に対して根本的に反対する勢力の献身的で同志的な連帯で、絶望の中に苦しむ労働者と民衆に希望を吹き込もう!

- 一つ、私たちは資本主義と金融収奪体制を終息させるために闘争する。
- 一つ、私たちは非正規・不安定雇用労働者の立場と境遇から闘争する。
- 一つ、私たちは民主労働運動の革新と労働者階級政治の実現に向け闘争する。

2012 年 4 月 29 日